

◆ 第60回 日立市民音楽祭

日立市民音楽連盟主催の「第60回 日立市民音楽祭」に今年度も出演いたします。

今回の演奏曲は従来の「OPERAの合唱曲」の領域を外れ、「Musical」からの合唱曲(編曲)を演奏することにいたしました。私たちにとっても新たな領域への挑戦となります。

全員参加で、ひたちオペラ合唱団の芸域の広さをアピール致しましょう。

- (1) 日 時： 2024年11月10日(日) 10:30～17:00
- (2) 場 所： 日立シビックセンター 音楽ホール
- (3) 出演時間： 15:00(待機) 15:07～15:14(演奏時間)
- (4) 演 奏 曲： Musical 《West Side Story》 Medley より(抜粋)
指揮：山館 冬樹 ピアノ：湯本 景子
- (5) 事前練習：助川交流センター 4Fホールにて 13:00～14:30(集合厳守)

◆ 「第2回 オペラでよかっぺ 歌でつなぐオペラリレーコンサート」

9月21日(土)、「歌でつなぐオペラリレーコンサート」に向けたシビックセンター主催の練習が指揮者である豊原 奏氏の下、実施されました。

オペレッタ《こうもり》は第5回「OPERA NOSTRA」(2017.9.3 創立20周年記念公演)で経験のある演目とは言え、経験者の減少、年月の経過もあり、新しい演目として取り組んでゆきたいものです。

また、シビックセンターからは入場チケットの販売協力依頼もありました。客席満杯のステージで歌う感動を得るためにも、全力で協力しましょう。

- (1) 日 時： 2024年12月15日(日) 13:00(開場) 14:00(開演)
- (2) 場 所： 日立シビックセンター 音楽ホール
- (3) 入場料： 一般：1,500円 25歳以下：500円
- (4) プログラム：オペレッタ《こうもり》より
- (5) 事前練習： ⇨ 12月8日(日)9:30～11:30
⇨ 12月14日(土)(GP)(詳細は後報)



◆ 関係団体の演奏会

◆ 日立交響楽団(H響) 第134回定期演奏会

- (1) 日 時： 2024年12月1日(日) 13:00 開場 14:00 開演
- (2) 会 場： 日立シビックセンター 音楽ホール
- (3) 入場料： 一般：1,000円 学生：500円 小学生以下：無料 (全席自由)
- (4) 演奏曲：ベルリオーズ「幻想交響曲」他



今後のスケジュール

月 日	時 間	会 場 ()は予定	指揮	ピアノ	内 容
10/ 6(日)	17:00～19:30	大久保交流センター 4F会議室	山館	阿部	「West Side Story」《こうもり》他
10/13(日)	17:00～19:30	大久保交流センター 4F会議室	杉原	湯本	
10/27(日)	17:00～19:30	大久保交流センター 4F会議室	山館	湯本	
11/ 3(日)	17:00～19:30	大久保交流センター 4F会議室	杉原	湯本	
11/10(日)	13:00～14:30	助川交流センター 4Fホール	山館	湯本	市民音楽祭 事前練習
	後報	シビックセンター 音楽ホール	山館	湯本	市民音楽祭出演
11/17(日)	17:00～19:30	大久保交流センター 4F会議室	杉原	阿部	《こうもり》他
11/24(日)	17:00～19:30	大久保交流センター 4F会議室	山館	湯本	
12/ 1(日)	17:00～19:30	(大久保交流センター 4F会議室)	山館	阿部	
12/ 8(日)	9:30～11:30	シビックセンター 音楽ホール	豊原		オペラリレーコンサート練習
12/14(土)	後報(終日)	シビックセンター 音楽ホール	豊原		オペラリレーコンサートGP
12/15(日)	後報(終日)	シビックセンター 音楽ホール	豊原		オペラリレーコンサート本番
12/22(日)	17:00～19:30	(大久保交流センター 4F会議室)	杉原	湯本	

私が訪ねた世界のオペラハウス 第61回

ストリートオペラとストリートピアノ ~ウィーンその12~

中川 幸雄

今年5月に行われた「ひたち国際大道芸大会」に「テノール歌手の水船桂太郎さん」が出演されました。偶然聴かせていただいた私は、そのお話の中にあった「Hi-C」という言葉に魅かれ、調べてみると浜松の屋外舞台やミラノの「路上」で歌うなど、いわゆる「ストリートオペラ」という分野に挑戦されているということが分かり、色々お話しさせていただきました。その中で「ストリートオペラ」はウィーンにもあるのではないかとのこと。期待を込めてウィーンの路上に注意を払いましたが、繁華街ケルントナー通りの何組かの音楽家には「オペラ」をやるという人はいませんでした。次回また探しましょう。

一方、ストリートピアノ。ウィーン中央駅に着いたとき張り切ってOBB(オーストリア国鉄)の案内所で聞いたところ「ピアノなんかないよ」と素っ気ない。「そんなはずは」とさらに聞こうとしたら畳みかけるように「オーストリアの鉄道駅にはピアノはないよ」。

翌日事前に調べてあった住宅地の小さなお祭りのような広場に行くと白いグランドピアノが置いてあり、弾き手は何人かいましたが聴衆も何人という感じ。少し弾かせてもらってからベンチに座ると係員らしき男性が来て「あなたの演奏をネットに出したいけれどいいですか?」。昨日のウィーン駅でのことを話すと「ウィーンではストリートピアノ」という文化が定着しているとは言えず、この男性の所属する「Piano for Refugee」のような団体が少しずつあちこちに置いて市民の反応を調べていると。目の前の白いピアノもその一つだと。意外でした。私が弾いているのをじっと聴いてくれる男性がいて「今の何調で弾いているの?」と。シャープ(♯)がいくつ付いているかなど考えたたことがない私には難しい質問。英語で話しているうち日本人と分かったのですが、この方は元ウィーン音大の教授で現在ウィーン在住。ストリートピアノを応援したくて付いて回っているとのことでした。

さらに翌日はMariahilfer Strasse。日本で言えば渋谷の歩行者天国です。ピアノを管理するのは同じ団体でした。さすがに弾く人も多いし聴衆も多い。「渚のアデリーヌ」「ドビッシー」「ショパン」など結構調子よく弾かせてもらいました。終了後追いかけて来て「すばらしかった」と言ってくれる人、「今の曲なんだっけ」と聞いて来る人。いやいや関心はあるのではないでしょうか。小さな子も当たり前のように弾いていてかいません。ストリートピアノを介しての色々な出会いはうれしいものです。あなたもいかがですか。

このほか今回は7年前にも弾かせてもらったウィーンの音楽館(Haus der Musik)、隣国スロバキアの首都ブラティスラバのバスター・ミナルでと、合わせて結局4か所でピアノを弾かせてもらいました。ブラティスラバのピアノはヤマハの初心者用電子ピアノでスイッチが壊れていてテープが貼っていました。フードコートの中央に置いてあり、午後のお茶の時間なのに関心がありそうな人は見当たらず拍手もなく残念でした。



ウィーン Mozart Platz(演奏 筆者)



「Piano for Refugee」の係員(中央)と元音大教授(ウィーン Mozart Platz)



ウィーン Mariahilfer Strasse (演奏 筆者)

翔歌碧空

10月、神無月(かんなづき)。October(英)、Ottobre(伊)。出雲の大社に全国の神々が集まって一年の事を話し合うため、出雲以外には神様が居なくなる月の意という、平安時代の頃から言われるようになった民間語源があるが、何とも微笑ましい▼10月は秋の真っ只中で、運動会やら、学芸会などの催しが小中学校や地域社会で行われたものだが、最近は夏の猛暑が長引き、秋の行事が後送りにされるようになったと思う▼毎日発表された気象庁の長期予想によれば、今年の「秋」は短いそうだ。「夏」が長引き、「冬」も長引くとか。日本の特徴の一つであった「四季の豊かさ」は無くなつて行き、「夏」と「冬」だけの両サイドのみが残される、何とも味気ない気がする▼10月15日は「十三夜月」。「中秋の名月」よりも少し青みを帯びた月光は冴え冴えとし、満月以上に、よりロマンチックな気分にさせてくれるかも?